

寸言

株式会社マクス エンジニアリング
代表取締役

水野 敬三



航空宇宙産業への更なる貢献を目指して

このたび、伝統ある日本航空宇宙工業会に入会させていただく事となりました。大変光栄に存じます。また、入会に際しましては、関係者の皆様方には、多大なるお力添えを頂きましたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

私共マクスエンジニアリンググループでは、自動車、電子部品、素材・化学や、ライフラインである上下水道、エネルギー等の様々な分野で事業を展開し、研究・開発・設計・製造・運用の各フェーズで技術サービスや各種機器、装置を提供して参りました。

航空・宇宙分野での実績は20年程と、まだ浅く、受託業務としてジェットエンジンのタービンブレードの歪み計測からスタートいたしました。高温環境での計測方法を模索し、試行錯誤の結果、何とかデータ取得を完遂したことを記憶いたしております。以来、地道に航空・宇宙分野の事業に力を注いで参り、近年では幅広くこの分野での業務を受託させていただけるようになりました。

ひとつは、私共の研究支援部門におきまして、航空機関連の先進的な技術開発テーマであり、国のプロジェクトでもあります、下記プロジェクトに対し、研究開発支援業務を行っております。

- *航空機の更なる軽量化を目指して「CFRPの高度化/接合技術と評価検査技術」
- *航空機の電動化に繋がる「超伝導モーター用の線材開発と評価」

また、設計部門では、航空機の生産設備関連の技術支援としてCAD図面作成、設備の効率化、安全性など、ものづくりの一翼を担っております。

宇宙開発支援部門におきましては、宇宙航空研究開発機構（JAXA）殿の国際間プロジェクトである国際宇宙ステーション計画で日本が担当する実験棟「きぼう」に係る各種業務を実施させていただいております。

例えば、

- ・日本実験棟「きぼう」の運用管制業務
- ・各種ミッションの国際間調整
- ・宇宙実験におけるユーザー対応
- ・船外ミッションインテグレーション支援

など、宇宙利用の下支えを日々実施するとともに国際間プロジェクトにむけて技術力向上を目指し、取り組んでおります。

宇宙関連の今後の事業展開に関しましては、米国を中心とした月・火星探査計画への参画にあたり、

- ・国際宇宙探査における技術開発支援
- ・宇宙に参入する各業界との情報共有

を実施するとともに、技術サービスにとどまらず、グループの総力を結集し、ものづくりの分野に向けチャレンジしてまいりたいと考えているところでございます。

最後になりますが、微力ではございますが、わが国の航空宇宙産業発展に貢献し、さらに努力し成長して参る所存でございます、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。